

No.	Category	Speaker	Agenda	Content	Minutes
1	Introduction	Miho			
2	Chapter	Chapter Leader	Introduce		各チャプター参加者より自己紹介（参加者リストは別スライド参照）
3	Board Team	Board Team	Self-Introduction	Board Team, Murakami-san	（ボードメンバー）自己紹介 （大学より）COVID19の影響で、アドミッションズオフィス（国際）が海外渡航が困難となっているため、各国でのフェア（information session）をwebinarで毎週行っている。チャプターの皆さんにぜひ、APUでの経験やキャリアパスなどの話をしていただきたい。もしご協力いただけるのであればぜひご連絡を。アドミッションオフィスのスタッフとつなげさせていただきます。
4	Presentation	Loop.A.S	Ice Breaking	APU Quiz	Loop.A.SがKahoot！を使いAPUに関するクイズを実施。Loop.A.Sの団体について、メンバー30名、3つの部署（イベント、PR、インタビュー）に分かれている。前セメまでは国内学生が多かったが、今セメから国際的なイベントを実施しようと、国際学生をリクルートした。2020年はコロナウイルスの影響もあり、Zoomでイベントを開催。1, 2回生の興味のある就活イベント（キャリア講演会等）を実施。キャリア講演会はキャリアについて考える機会、よい影響を卒業生からもらうために、日英両言語で実施した。在学学生は海外で働いている卒業生とコンタクトを取れる機会が少ないので、Loop.A.Sは引き続きこのキャリアイベントに参加して下さる海外在住の卒業生（元国際学生）を探している。インタビュー部署はLoop.A.Sのホームページを刷新した。ぜひチェックを。（ https://loopas.cc/ ） 今は日本語のみの掲載だが、徐々に英語文もアップしていく予定。PR部署ではInstagramで卒業生情報を投稿している。ぜひInstagram、Facebookアカウントをフォローしてください。ぜひLoop.A.Sのキャリアイベントに参加していただきたい。SNSへの卒業生記事投稿にご参加ください。インタビューにご協力をお願いしたい。何かあれば、 loop.a.sapu@gmail.com までご連絡ください。
5	Board Team	koka	Update of APU alumni vision	<ul style="list-style-type: none"> Review of Alumni association vision Update about board organisation personnel chart 	校友会が設立されたときに掲げられた2つのビジョンについて。①グローバル・ファミリー。②自己実現。 グローバルファミリーはすべてのチャプターやグループのサポートを行っている。例えばRLM開催準備やチャプターの新規設立のサポート、グループ活動のサポート、Social Development Grantの活動などもある。 Self-accomplishmentチームは卒業式に流すビデオを作成したり、奨学金サポート、PR活動を行っている。 コーポレートチームは財務、IT、プラットフォームなどについて検討している。
6	Board Team	Keiko	Update of APU alumni association's activities	<ul style="list-style-type: none"> Marketing Student Engagement Alumni Engagement Chapter Relationships Technology Finance 20th Anniversary 	ボードは3つの部署、6個のチームがある。広報担当はビデオ制作。学生担当がルーパスサポート、また今年はコロナの影響で奨学金制度を中止しているが、昨年度分をオンラインで授賞式を行った。校友担当は3つのグループのサポートを行っている。また卒業生向けの支援としてSocial Development Grantという奨学金制度を用意している。チャプター担当はRLM開催など様々な活動をしている。コロナ禍で各チャプターがオンラインで工夫してイベントを実施している。ぜひ参考にしてほしい。チャプター設立マニュアルは現在見直しをしているので、完了次第、ホームページに掲載します。IT担当、RLM参加者リストの作成やZoom、Slackのマニュアル等を作成している。20周年は今年は実施しないことになったが、もしアイデアなどあればメッセージをください。
				<ul style="list-style-type: none"> Description of Plans 	タスクフォース説明。今年度の収入1400万円。支出は100万円未満。多くのチャプターがコロナ禍で対面の活動ができていないため支出が少なくなっている。来年度の予算について、固定費は総会の参加人数で算出していたが、今年度はコロナ禍で総会が対面で実施できていないので、ボードメンバーで検討した結果、今年度の固定費をそのまま来年度に繰り越す。これは、対面での総会やミーティングを来年度も推奨したくないという意図、新しいスタイルの総会を検討してほしいという思いから。もしよい新しいアイデアがあればぜひ教えてください。各チャプターにて特別な（追加の）予算が必要な場合は検討する。校友会費の新しい徴収方法への変更を決定した。その背景としては、校友会費は今まで入学と同時に大学が代理徴収して

7	Sharing	Ryosuke/Seitaka	Task Force	<p>・Question and Answer</p>	<p>きたが、多くの国際学生が支払いをしていないという現状から徴収方法を変更する必要があると考えたため。すでにこのプロジェクトを開始し、今年の6月にコンサルタントを雇っており、新しい校友会費の徴収方法を検討している。来年の4月よりトライアルを開始できたらと考えている。何か質問等あればお知らせください。これまで組織体制が弱かったので、大学に頼っていたが、今後は校友会は独立した組織として、徴収方法を大学の代理徴収から変更しなければならないと思い、新しい徴収方法を検討することにした。</p> <p>(ヨーロッパチャプターより質問) 徴収方法がどんな感じになるのか簡潔に教えてほしい。⇒まだ決まっていないので、詳細はお伝えできないが、自動的に校友会費を徴収する方法から変更する。大きな変更になるので、コンサルを雇うことにした。現在コンサルと審議中なので、後日詳細、フィードバックを送る。プロセスやTFはクリアでオープンなのでいつでもアイデアが欲しい。レポートも皆さんにお送りする。</p> <p>(中部チャプター) コンサル費用を回収できる前提でやっていますか？何かできることがあれば教えてください。⇒コンサル費用はそれほど高くないですが、自動徴収の在り方から本来の正しい徴収方法へ変更しようという思いで動いている。透明性確保しながら皆さんの意見を聞きたい。</p>
8	Sharing	Yoshinobu	APU Hands	activity report	<p>APU Handsの活動報告。APU Handsはコロナウイルスの影響でAPU生が困って切ると聞いてそれを手助けできたらと聞いて4月に立ち上がった団体。卒業生、教職員で構成されている。実際には食料に困っている学生が多いということで、学生に食糧配布をしている。5月から毎月食料支援し、現在のところ3,900名の学生に支援してきた。ほかにも、アルバイト情報を紹介したり、APU卒業生からAPU生へ向けたメッセージの配信など行って来た。寄付を募り、それを原資に活動を行っている。現在のところ730万円ほどの寄付が集まり、食料等の寄贈も頂いている。APUプラザ(別府市内)にて配布している。卒業生中心に配布しているが、立命館大学の校友や別府市内の方、大分交通の方々にもご協力いただいている。学生から感謝のメッセージも届いています。来年の3月まで支援を続けていく予定。</p>
9	Sharing	Europe Chapter			<p>ヨーロッパチャプター2008年設立。最初総会は2017年。それ以降様々なヨーロッパの場所で総会やイベントを開催してきた。今年の2月は対面でジュネーブでイベントを行った。APUの須藤先生とワークショップを行う予定にしていた。(残念ながら開催できなかったが)今年度は9月にオンライン総会&webinarを2日間にわたって開催した。100名を超える参加者がいた。APUとリンクしてWebinarを開催。様々なパネリストを招待。先生や在学生(Loop.A.Sも参加)など。APUへの恩返し、change maker award 2020を開催。今後もAPUへの恩返しなど続けていきたい。</p>
10	Presentation	Deguchi-san		<p>・About APU's future, expect for APU alumni</p>	<p>①コロナかであってもオンラインをうまく使ってください。APU Handsの活動もありがとうございます。One APU 学生と職員だけでなく卒業生など様々なステイクホルダーがいてこそAPUは成り立っている。これからもAPUをサポートしてください。厳しい意見をください。そうすれば大学も成長できます。</p> <p>②現在のAPUの状況。コロナ禍にも関わらず、500人の国際学生が入学を決めてくれた。まだ日本に入国できないにも関わらず、入学の手続きをしてくれた。うれしい限り。大学は500名の新入国際学生と500人の日本に再入国できずにいる学生のために政府など働きかけている。APUのバリューはキャンパスにあると思っているので、政府などへ働きかけて学生を一刻も早くキャンパスへ迎え入れたい。秋セメからはハイブリット授業開始。対面授業あり。200~300名の学生が毎日キャンパスにいる状況。APハウスも入寮者が増えた。パンデミックが終わるまでは大変な時期が続きますが、学生を守りたい、と考えている。</p> <p>③ポストコロナのビジョン 2030年に向けてのプランを考えている。歴史を見ているとパンデミックは2年で落ち着いている。ワクチンができれば、新型コロナウイルスはインフルエンザ並みの感染症になると思っている。それでは、ポストコロナではAPUはどうなっていくか。アフリカの学生をもっと教育したいと思っている。APUの理念は教育の必要な若者を教育し、故郷へ返していく。アフリカの人口はアジアの人口に及ぶとの予想もある。アフリカには大学はあまり多くない。アフリカの若者を受け入れ、教育し、故郷</p>

	Discussion		•Discuss with President Deguchi	<p>へ帰す。APUは何を目指すのか、アントレプレナーシップ、SDGs。新しいムーブメントが起こらないと正解はよくならない。APMはアントレプレナーシップに力を入れていく。来年から講義にもアントレプレナーシップを取り入れていく。APSと新しくできる観光系の学部はSDGsを念頭においてチャレンジしていきたい。2023年4月に新しい学部を開講予定。新しいビルも建つ、APハウス5も建つ。エコキャンパスを目指していきたいと考えている。リカレント教育についてはどう考えていくのか。大学の理念はアズハル大学に尽きると思っている。いつでも勉強したいときに入学し、勉強したい科目だけ勉強し、賢くなったと思ったらいつでも卒業できる、これが大学の理想形だと思う。APUの授業はすでに英語で授業が行われている。オンラインを使えばアズハルの大学も夢ではない。文科省の規制緩和が必要だがコロナが終わった後はもどに戻るのはではなく、今を発射台としてより良い大学にしたいと思っている。</p>
11	Other			<p>(Mukul) コロナ禍での国際学生に対する別府市民からの差別があると聞いたのですが、大学は状況を知っていますか。 (Morse)国際学生が友だちがバイト中にセクハラ被害にあったと相談されたのですが、どうしたらいいのかわからなかったのですが、とてもショックでした。。 ⇒ (大学から) コロナ禍での差別に対しては、大学は状況を把握しています。また別府市が差別をしていたとされる飲食店に話に行き、最終的に理解頂いたと聞いている。今、別府はAPU生大歓迎です。それと同時に、コロナウイルスを心配しているのも事実なので、出口学長から市民に向けて、学生がコロナウイルス感染拡大を防ぐよう行動していくというメッセージも出しています。また、セクハラ、パワハラなどに関しては、スチューデントオフィスが管轄ですが、カウンセラーもいます。大学の範疇を超えて、警察や弁護士などが必要な場合もありますが、大学としてハラスメントケースにしっかり対応しています。</p>